

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2009-55337(P2009-55337A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2007-220040(P2007-220040)

【国際特許分類】

H 04 R 9/04 (2006.01)

【F I】

H 04 R 9/04 104 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月28日(2009.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、
前記ボビンの外周を取り巻くコイルと、
を備えることを特徴とするボイスコイル。

【請求項2】

前記ボビンが、コイルの巻回方向に対して略垂直に纖維方向を有することを特徴とする
請求項1に記載のボイスコイル。

【請求項3】

前記木製シートの厚さが0.06~0.6mmであることを特徴とする請求項1または
2に記載のボイスコイル。

【請求項4】

前記ボビンが、前記木製シートの裏面に貼り付けられた補強シートを備えることを特徴
とする請求項1または2に記載のボイスコイル。

【請求項5】

前記補強シートは紙であることを特徴とする請求項4に記載のボイスコイル。

【請求項6】

前記補強シートの厚さが0.03~0.1mmであることを特徴とする請求項4に記載
のボイスコイル。

【請求項7】

天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、
前記ボビンの外周を取り巻くコイルと、
前記ボビンの一端に接続された振動板と、
前記コイルに磁気的に接続された磁気回路と、
を備えることを特徴とするスピーカ。

【請求項8】

前記ボビンが、コイルの巻回方向に対して略垂直に纖維方向を有することを特徴とする
請求項7に記載のスピーカ。

【請求項9】

前記木製シートの厚さが0.06~0.6mmであることを特徴とする請求項7または

8に記載のスピーカ。【請求項10】

前記ボビンが、前記木製シートの裏面に貼り付けられた補強シートを備えることを特徴とする請求項7または8に記載のスピーカ。

【請求項11】

前記補強シートは紙であることを特徴とする請求項10に記載のスピーカ。

【請求項12】

前記補強シートの厚さが0.03~0.1mmであることを特徴とする請求項10に記載のスピーカ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このように、従来から用いられる材料には、それぞれ一長一短があり、高い伝搬速度を持ち、軽量で、強度が強く、且つ振動を高能率で伝達可能なボイスコイル及びスピーカは得られていない。

【特許文献1】特開2002-300697号公報

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本願発明の態様によれば、天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、ボビンの外周を取り巻くコイルと、を備えるボイスコイルが提供される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本願発明の他の態様によれば、天然木を所定の厚さにスライスした木製シートで形成したボビンと、ボビンの外周を取り巻くコイルと、ボビンの一端に接続された振動板と、コイルに磁気的に接続された磁気回路と、を備えるスピーカが提供される。